

令和5年度 中期経営計画 実績評価表

1 戦略と取組

戦略1	財政基盤の確立	取組1	財政の健全化
-----	---------	-----	--------

2 3年後のあるべき姿

公共財としての社協の財政破綻を避ける方針を市行政とのパートナーシップを基に打ち出している

3 重点項目と令和5年度の実績および達成度評価

①中長期収支見込みの作成と年度ごとの分析及び見直し
 【評価】 (A ・ **B** ・ C ・ D)
 上半期の収支状況や決算見込はこれまでにできていなかった取組であったので、今後も継続していきたい。
 【次年度の取組】
 指定管理の方向性も固まってきたので、職員の退職・採用等の動向も含めた収支見込の見直しをすすめていく。

②財源の確保のための事業効果の見える化
 【評価】 (A ・ B ・ **C** ・ D)
 数値化して分かりやすくなったので、具体的な事例をより多く示すとさらに良いと地域福祉推進計画評価委員会での意見があった。
 【次年度の取組】
 引き続き第三者にも分かりやすく実績を見せることを心がけて、社協が実施する事業に対する財源の確保につなげていきたい。

③クラウドファンディング等による新たな財源確保
 【評価】 (A ・ **B** ・ C ・ D)
 大幅に収入が増えたわけではないが、いくつかの取り組みを具体的にすすめることができた。
 【次年度の取組】
 クレジット決済のフォーム導入に合わせてホームページも刷新するとともに、振込用紙付きの賛助会員募集チラシの作成もすすめる。

1 戦略と取組

戦略1	財政基盤の確立	取組2	安定的な財政運営
-----	---------	-----	----------

2 3年後のあるべき姿

介護保険事業が黒字化するとともに、市の補助金・受託金が適正に確保されて安定的な法人運営ができていく

3 重点項目と令和5年度の実績および達成度評価

①介護保険事業の安定経営
 【評価】 (A ・ **B** ・ C ・ D)
 パートヘルパーについてはある程度コンスタントに採用することができたため、稼働率を上げて収益確保を図っていききたい。
 【次年度の取組】
 サービス提供責任者が年度末で1人退職するが、新たにチーフヘルパーを1人採用して円滑に事業所運営ができるようにしていく。

②老人福祉センター指定管理見直しへの対応
 【評価】 (A ・ **B** ・ C ・ D)
 和楽園の改修工事も予定通り年度内に終了し、施設ごとに指定管理期間が異なるが、各園とも非公募で引き続き受託できることが決まった。
 【次年度の取組】
 各園の指定管理終了に向けた人事配置や、職員の退職・採用の動向を含めた収支見込の見直しをすすめていく。

③行政との継続協議による公費確保のルール化
 【評価】 (A ・ B ・ **C** ・ D)
 市財政再建プログラムによるカット分が復元されることを見越して処遇改善を行ったものもあり、今回復元されなかったのは収支的に大打撃であった。
 【次年度の取組】
 年度明けすぐから協働推進課と継続協議を開始し、福祉局の間接経費積算についても並行して協議をすすめていく。

④基金及び積立金の運用管理の適正化
 【評価】 (A ・ B ・ **C** ・ D)
 国債買い替えによって利息収入を増やせたことは継続的に増収となるため効果があったと考える。
 【次年度の取組】
 建物維持管理経費やOA機器の購入のために基金、積立金を取り崩す必要があるが、資金にも限りがあるため計画的な運用を行っていききたい。

令和5年度 中期経営計画 実績評価表

1 戦略と取組

戦略2	組織基盤の強化	取組1	専門職化
-----	---------	-----	------

2 3年後のあるべき姿

人員の適正化が図られ、専門的な知識を持ち、かつ、意欲的な人材が配置されている

3 重点項目と令和5年度の実績および達成度評価

①人材確保及び育成のための採用方針および定数管理等の基本方針の策定
 【評価】 (A ・ **B** ・ C ・ D)
 新採用職員向けの研修をはじめ、職種ごとの専門的な内容の研修についても県社協主催のものを中心に積極的に受講している。
 【次年度の取組】
 定年延長の影響をふまえた退職者の動向に加えて、老人福祉センターの状況に合わせた採用計画を作成していく。

②能力開発や業績評価、処遇などの総合的な人事制度の再構築
 【評価】 (A ・ **B** ・ C ・ D)
 ベースアップや手当の是正等、令和5年度中にかなりの処遇改善を行うことができた。
 【次年度の取組】
 処遇改善にかかる財源を確保するとともに、就業規則ごとの休暇制度のばらつきを是正していく必要がある。

③職員の専門性向上のための資格取得支援制度の導入
 【評価】 (A ・ **B** ・ C ・ D)
 資格手当については平成25年度の手当創設(専門職給与規程)以降、初めて見直しを行った。
 【次年度の取組】
 資格取得に際しては、金銭面だけでなく様々な環境面において必要なバックアップ策について検討していく。

1 戦略と取組

戦略2	組織基盤の強化	取組2	組織の強化
-----	---------	-----	-------

2 3年後のあるべき姿

心身ともに健康で意欲をもって働くことのできる環境づくりや信頼の向上に資する取組みをすすめ、総合力を発揮した活動を展開している

3 重点項目と令和5年度の実績および達成度評価

①法人全体でのコンプライアンス強化
 【評価】 (A ・ **B** ・ C ・ D)
 年次計画が前後して研修は未実施だが、コンプライアンス推進規程については策定済みとなった。
 【次年度の取組】
 職員向けの研修を実施して規程の遵守やコンプライアンス推進に係る意識醸成を図ってきたい。

②リスクマネジメントの徹底
 【評価】 (A ・ **B** ・ C ・ D)
 委託事業担当者は市が定めるセキュリティに係るオンライン研修を受けるとともに、市からの実地調査では、できていない項目も一部あったが適切に対応できた。
 在宅ケア推進グループでは事業所単位のBCPが策定された。
 【次年度の取組】
 市からの実地調査は定期的に行われる予定のため、各所属でセキュリティ管理をしっかり行うとともに、法人全体のBCP見直し作業をすすめていく。

③権限と責任の明確化
 【評価】 (A ・ B ・ **C** ・ D)
 職層ごとの役割や求められる能力について一定まとめることができた。
 【次年度の取組】
 決裁の専決区分について見直しを行い、日常の軽微な決裁の専決者が現行で適正かどうかについて分析を行っていく。

④同一労働同一賃金の取組みと働き方改革の推進
 【評価】 (**A** ・ B ・ C ・ D)
 手当の是正、初任給の引き上げに加え、民歴換算の内容も市に合わせて引き上げることとなった。
 【次年度の取組】
 処遇改善に係る財源の確保は喫緊の課題であり、早急に市と調整する必要がある。休暇制度の見直しについても適宜すすめていきたい。

1 戦略と取組

戦略2	組織基盤の強化	取組3	情報マネジメント
-----	---------	-----	----------

2 3年後のあるべき姿

多様な広報手段を活用して社協の取組みを発信している

①ICT化推進による社内情報共有システムの構築

【評価】 (A ・ **B** ・ C ・ D)
 令和5年度までは各職員に配付していた勤怠に係る帳票類の様式をグループウェアにアップして、必要に応じて各自でダウンロードするようにする等、事務の効率化、ペーパーレス化をすすめた。

【次年度の取組】

引き続きグループウェアの各種機能を活用し、さらなる情報共有の迅速化、効率化に努めたい。

②効果的な広報戦略の実施

【評価】 (A ・ **B** ・ C ・ D)
 ホームページやSNSの投稿は一定数の件数を維持している。所属によって頻度にばらつきが大きいため、積極的に情報発信を行う意識付けが必要である。

【次年度の取組】

広報に係る基本方針に基づいて、情報発信できるものは各所属で積極的にSNS等を活用して発信するよう平準化していく。

③行政と連携した双方向コミュニケーションの充実

【評価】 (A ・ B ・ **C** ・ D)
 3者による検討会は継続することができたため、地域住民からの声の拾い方についても検討できればなお良かった。

【次年度の取組】

あましえあにアップされた最新の情報を公開するとともに、SNS等で情報交換をできる仕組みづくりについて検討していく。